

部会の見直し（案）について

1 経緯

令和2年度第1回高知県少子化対策推進県民会議総会において、委員から下記ご意見をいただいたことをきっかけに、若い世代をメンバーとする部会の設置を検討

○委員からいただいたご意見

- ・委員の平均年齢が高い。独身者（若い人）から意見を聞く場が別にあればいいのではないか。
- ・子育てをしている若い人の声（悩み、苦勞、体験）を集めることが、対策の突破口につながるのではないか。
- ・部会に「結婚頑張ろう部会」「子育て頑張ろう部会」など、その世代が集まる「自ら頑張ろう部会」があってもいいのではないか。

2 事務局（案）と各部会におけるご意見**（1）事務局（案）の概要**

- ①構成団体の若い世代の方をメンバー（青年分野の構成団体や、構成団体における青年組織の方など）とする部会を新たに設置し、出会い・結婚、妊娠・出産、子育てのライフステージに応じた少子化対策について、当事者の視点で議論する。
- ②現在の4つの部会を2つの部会に再編し、①とあわせ3部会とする。

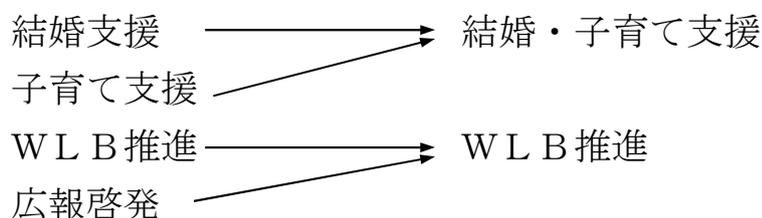
（2）各部会におけるご意見

- ・規模の大きい会議では意見が出にくいので、若い世代をメンバーとする部会を作ることはいいと思う。
- ・若い世代をメンバーとする部会を別に作るのではなく、現在の部会を再編した部会の下に、若い世代の声を聞く場（機会）を設け、若い世代の意見（例えば、どうすればマッチングシステムが使いやすくなるのかなど）を集め、部会に報告したらどうか。
- ・若い世代をメンバーとする部会には、地域子育て支援センターの利用者や子育てサークルに集う方、県立大学生などにも参加してもらったらどうか。

3 部会での議論を踏まえた見直し（案）

(1) 現在の部会の見直し

- ・現在の4部会を2部会（結婚・子育て支援部会、ワークライフバランス推進部会）に再編する。



- ・ライフステージに応じた少子化対策について議論
- ・各部会の意見は総会に報告し、総会において議論をさらに深める。

} 現在と
同じ

(2) 若い世代の部会の追加

- ・構成団体の若い世代の方をメンバーとする部会を新たにつくる。
- ・毎回テーマ（例えば、「マッチングシステムの認知度の向上」等）を決め、課題や具体的な対策案等について、当事者の視点で意見をいただく。
- ・テーマに応じ、大学生など部会員が推薦する構成団体以外の方の参加も可能とする。
- ・意見は該当する部会（3（1））に報告する。

※所属する部会や部会メンバーについては、総会終了後、各団体の意向等を踏まえ、改めて会長が指名する。